

第3章

本庄駅北口周辺の将来像

- (1) まちなか再生方針のテーマ
- (2) まちの将来像

(1) まちなか再生方針のテーマ

「第2章 まちなか再生の課題」で整理したまちなか再生の課題を踏まえ、基本計画のまちづくりのコンセプト「まちに暮らし、まちを活かし、まちが息づく」が具体化し、本地区ならではの暮らしの解像度を高めた言葉として、まちなか再生方針のテーマを設定します。

まちなか再生方針のテーマ

暮らす人が主役のまち ー通るまちから、暮らすまちへー

駅や利便施設が集積し、多くの人が行き交うポテンシャルを活かして、

まちなかを通過するだけでなく、寄り道や滞在、回遊を生むまちへ。

視点を車から人へ転換し、過ごしたくなるまち = 暮らすまち を目指します。

(2)まちの将来像

以下に示したまちの将来像の実現に向けて、具体的に取り組むべき個別事業は、「第4章 まちなか再生に向けたアクション」に示します。

活かす

人が主役のみちづくりや歴史をつなぐまちづくりを行い、歩きたくなる仕掛けをつくることで、まちを“活かす”にぎわいを生む空間づくりにつながります。

立ち寄りたくなる沿道景観づくり
歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり

中山道の無電柱化

銀座通りの美装化

狭あい道路の防災性能の向上と建替え促進
路地的空間を活かしたまちづくり

中山道の無電柱化イメージ

銀座通りの美装化イメージ

暮らす

安心して過ごせる駅前広場づくりに取り組み、人に優しい交通利便性の確保や居心地の良い暮らしの場づくりを推進することで、安全・安心に“暮らす”環境を形成します。

まちなか広場のイメージ

駅前広場の活用イメージ

息づく

魅力・資源を活かしつつ、狭あい道路の解消や建替え促進、空き家・空き店舗の活用促進を推進することで、まちが循環し、“息づく”まちへと転換します。

うらみちの魅力づくりイメージ

狭あい道路の安全空間イメージ

都市内幹線軸の整備

駅前広場の再整備

